

佐賀県教員採用試験

教職・一般教養

令和6年度(2023年実施)

I 次の（１）～（５）の各条文が記載されている法令名を下の（ア）～（ク）からそれぞれ１つ選び、その記号で答えなさい。

（１）小学校には、設置者の定めるところにより、学校評議員を置くことができる。

（２）すべて国民は、法律の定めるところにより、その保護する子女に普通教育を受けさせる義務を負ふ。義務教育は、これを無償とする。

（３）校長及び教員は、教育上必要があると認めるときは、文部科学大臣の定めるところにより、児童、生徒及び学生に懲戒を加えることができる。ただし、体罰を加えることはできない。

（４）学校には、健康診断、健康相談、保健指導、救急処置その他の保健に関する措置を行うため、保健室を設けるものとする。

（５）すべて職員は、全体の奉仕者として公共の利益のために勤務し、且つ、職務の遂行に当たっては、全力を挙げてこれに専念しなければならない。

（ア）日本国憲法

（イ）教育基本法

（ウ）学校教育法

（エ）地方公務員法

（オ）学校教育法施行令

（カ）学校教育法施行規則

（キ）教育公務員特例法

（ク）学校保健安全法

2 次の(1)～(5)は、ある法令の条文を記したものである。各条文の()に入る語句を下の(ア)～(ソ)からそれぞれ1つ選び、その記号で答えなさい。

(1) 教員は、授業に支障のない限り、()の承認を受けて、勤務場所を離れて研修をおこなうことができる。

(2) 職員は、職務上知り得た()を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

(3) 免許状は、()免許状、特別免許状及び臨時免許状とする。

(4) 学校においては、児童生徒等の安全の確保を図るため、当該学校の施設及び設備の安全点検、児童生徒等に対する()を含めた学校生活その他の日常生活における安全に関する指導、職員の研修その他学校における安全に関する事項について計画を策定し、これを実施しなければならない。

(5) 学校には、学校図書館の専門的職務を掌らせるため、()を置かなければならない。

(ア) 本属長

(エ) 司書補

(キ) 教育長

(コ) 情報

(ス) 普通

(イ) 放課後

(オ) 図書室

(ク) 司書教諭

(サ) 学校給食

(セ) 秘密

(ウ) 学校の設置者

(カ) 成績

(ケ) 基本

(シ) 専修

(ソ) 通学

- 3 次の文は、「障害のある子供の教育支援の手引 ～子供たち一人一人の教育的ニーズを踏まえた学びの充実に向けて～」(令和3年6月 文部科学省)から一部を抜粋したものである。
(①) ～ (⑤) に入る語句を下の(ア)～(シ)からそれぞれ1つ選び、その記号で答えなさい。

障害のある子供が、(①)として、生涯にわたって様々な人々と関わり、主体的に社会参加しながら心豊かに生きていくことができるようにするためには、教育、医療、福祉、保健、労働等の各分野が一体となって、社会全体として、その子供の(②)を生涯にわたって教育支援していく体制を整備することが必要である。

このため、早期から始まっている教育相談・支援を就学期に円滑に引き継ぎ、障害のある子供一人一人の精神的及び身体的な能力等をその可能な最大限度まで発達させ、学校卒業後の地域社会に主体的に参加できるよう移行支援を充実させるなど、(③)教育支援が強く求められる。

障害のある子供一人一人の(④)を把握・整理し、適切な指導及び必要な支援を図る特別支援教育の理念を実現させていくためには、早期からの教育相談・支援、就学相談・支援、就学後の継続的な教育支援の全体を「(③)教育支援」と捉え直し、(⑤)教育支援計画の作成・活用等の推進を通じて、子供一人一人の(④)に応じた教育支援の充実を図ることが、今後の特別支援教育の更なる推進に向けた基本的な考え方として重要である。

(ア) 選択

(エ) 個別の

(キ) 地域社会の一員

(コ) 教育的ニーズ

(イ) 特質

(オ) 統合的な

(ク) 生育環境

(サ) 一貫した

(ウ) 自立

(カ) 多面的な

(ケ) 社会の形成者

(シ) 柔軟な

- 4 次の文は、佐賀県「人権教育・啓発基本方針（第二次改訂）」（平成30年3月 佐賀県）の「第2章 人権施策の推進方向」の2（2）学校」から抜粋したものである。（①）、（②）に入る語句を下の（ア）～（ク）からそれぞれ1つ選び、その記号で答えなさい。

こうした人権学習を通して、自分たちに保障されている権利を知り、様々な人権課題を「自分事」として捉え、（①）にある人権問題に気づき、問題解決に向けて自ら考え判断する力、そして行動する力を育むことで、差別をなくすために（②）に行動できる子どもたちを育てていく必要があります。そのためには、家庭や地域、関係機関等と連携を図りながら人権教育を推進していくことが重要です。

- | | | |
|--------|---------|------------|
| （ア）能動的 | （イ）学校の中 | （ウ）社会全体 |
| （エ）主体的 | （オ）自律的 | （カ）自分の身の回り |
| （キ）協働的 | （ク）世界中に | |

- 5 次の文は、「生徒指導提要」（令和4年12月 文部科学省）の「まえがき」から抜粋したものである。下の（①）～（③）に入る語句を（ア）～（コ）からそれぞれ1つ選び、その記号で答えなさい。

特に今回の改訂では、課題予防・早期対応といった課題対応の側面のみならず、児童生徒の（①）を支えるような生徒指導の側面に着目し、その指導の在り方や考え方について説明を加えています。

子供たちの（②）が進み、様々な困難や課題を抱える児童生徒が増える中、学校教育には、子供の（①）や教育的ニーズを踏まえつつ、一人一人の（③）を最大限伸ばしていく教育が求められています。

- | | | | |
|--------|--------|--------|-------|
| （ア）可能性 | （イ）多様化 | （ウ）成長 | （エ）悩み |
| （オ）願い | （カ）二極化 | （キ）少子化 | （ク）発達 |
| （ケ）学力 | （コ）個性 | | |

- 6 次の文は、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（令和3年1月 中央教育審議会答申）の「第Ⅰ部 総論 Ⅰ. 急激に変化する時代の中で育むべき資質・能力」から抜粋したものである。（①）～（④）に入る語句を下の（ア）～（シ）からそれぞれ1つ選び、その記号で答えなさい。

- 人工知能（AI）、ビッグデータ、Internet of Things（IoT）、ロボティクス等の先端技術が高度化してあらゆる産業や社会生活に取り入れられた Society（①）時代が到来しつつあり、社会の在り方そのものがこれまでとは「非連続」と言えるほど劇的に変わる状況が生じつつある。（中略）
- このように急激に変化する時代の中で、我が国の学校教育には、一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と（②）しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、（③）社会の創り手となることができるよう、その資質・能力を育成することが求められている。
- この資質・能力とは、具体的にはどのようなものであろうか。中央教育審議会では、平成28年答申において、社会の変化にいかに対処していくかという受け身の観点に立つのであれば難しい時代になる可能性を指摘した上で、変化を前向きに受け止め、社会や人生、生活を、人間ならではの（④）を働かせてより豊かなものにする必要性等を指摘した。とりわけ、その審議の際に AI の専門家も交えて議論を行った結果、次代を切り拓く子供たちに求められる資質・能力としては、文章の意味を正確に理解する読解力、教科等固有の見方・考え方を働かせて自分の頭で考えて表現する力、対話や（②）を通じて知識やアイデアを共有し新しい解や納得解を生み出す力などが挙げられた。

（ア）3. 0

（エ）思考力

（キ）コミュニケーション

（コ）体験

（イ）感性

（オ）4. 0

（ク）創造力

（サ）グローバル

（ウ）持続可能な

（カ）協働

（ケ）5. 0

（シ）高度情報化

7 次の(1)～(5)が説明する内容を下の(ア)～(シ)からそれぞれ1つ選び、その記号で答えなさい。

(1) 人間や動物の行動を、心理学を用いて研究する「行動分析学」の創始者と言われており、プログラム学習を提唱したアメリカの心理学者。

(2) アメリカの心理学者ジョン・H・フラベルが定義し、小学校学習指導要領(平成29年告示)解説総則編の中では、「自分の思考や行動を客観的に把握し認識する」と表現されている概念。

(3) 「試行の積み重ねによって問題の解決に至ることから生じる学習」を提唱したアメリカの心理学者。

(4) 知識やスキルを使いこなす(活用する)ことを求めるような評価方法。

(5) 幼児期の遊びの大切さに気付き、世界最初の幼稚園を設立し、「幼児教育の父」と呼ばれたドイツの教育者。

(ア) ピアジェ

(イ) スキナー

(ウ) ソーンダイク

(エ) デューイ

(オ) エレン・ケイ

(カ) フレーベル

(キ) 自己認識

(ク) メタ認知

(ケ) モニタリング

(コ) ポートフォリオ評価

(サ) パフォーマンス評価

(シ) ルーブリック

8 次の(1)～(9)の各問いに答えなさい。

(1) 次の①、②の下線部のカタカナにあてはまる漢字を次の(ア)～(エ)から1つ選び、その記号で答えよ。

① シコウ錯誤を重ねる

(ア) 思行 (イ) 施行 (ウ) 試行 (エ) 試考

② 社会ホショウ制度を整備する

(ア) 保証 (イ) 保障 (ウ) 補償 (エ) 特証

(2) 次の(ア)～(エ)から夏の季語を1つ選び、その記号で答えよ。

(ア) 椿 (イ) 牡丹 (ウ) 朝顔 (エ) 大根

(3) 次の(ア)～(エ)の中でもっともはやく起きた出来事を1つ選び、その記号で答えよ。

(ア) 島原の乱 (イ) 承久の乱 (ウ) 保元の乱 (エ) 応仁の乱

(4) 2024年2月29日は木曜日である。2025年2月28日は何曜日か。次の

(ア)～(エ)から1つ選び、その記号で答えよ。

(ア) 木曜日 (イ) 金曜日 (ウ) 土曜日 (エ) 日曜日

(5) 元素記号「Sn」で表される元素名は何か。次の(ア)～(エ)から1つ選び、その記号で答えよ。

(ア) スズ (イ) 鉛 (ウ) 亜鉛 (エ) 鉄

(6) 次の(ア)～(エ)から管楽器でないものを1つ選び、その記号で答えよ。

(ア) オーボエ (イ) クラリネット (ウ) コントラバス (エ) トロンボーン

(7) 「WTO」で表される国際連合の専門機関の名称は何か。次の(ア)～(エ)から1つ選び、その記号で答えよ。

(ア) 世界保健機関 (イ) 世界気象機関 (ウ) 世界観光機関 (エ) 世界貿易機関

(8) 感染症法で新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と同じ5類感染症に位置付けられている感染症は何か。次の(ア)～(エ)から1つ選び、その記号で答えよ。

(ア) 狂犬病 (イ) 麻しん (ウ) コレラ (エ) 結核

(9) 全てのこどもが将来にわたって幸福な生活を送ることができる社会の実現を目指し、こども政策を総合的に推進することを目的として2023年4月に発足した政府機関を何というか。次の(ア)～(エ)から1つ選び、その記号で答えよ。

(ア) 家庭こども庁 (イ) 家庭こども省 (ウ) こども家庭庁 (エ) こども家庭省

9 次の(1)～(4)の()に入る最も適切なものを下の(ア)～(エ)からそれぞれ1つ選び、その記号で答えなさい。

(1) Could you () me a hand with this baggage?

(ア) take (イ) show (ウ) keep (エ) give

(2) Hurry up, () you will be late for the meeting.

(ア) so (イ) if (ウ) or (エ) but

(3) I was sitting in the room when I heard my name ().

(ア) call (イ) to call (ウ) calling (エ) called

(4) You had better change () at the next station.

(ア) train (イ) trains (ウ) a train (エ) the train

10 次の(1)～(5)の各問いに答えなさい。

(1) 佐賀県の県木(けんぼく)に指定されている木はどれか。次の(ア)～(エ)から1つ選び、その記号で答えよ。

(ア) クス (イ) スギ (ウ) ツツジ (エ) ツバキ

(2) 2023年4月18日に開通した佐賀市のSAGAアリーナ側と佐賀市文化会館側をつなぐ横断橋の名称はどれか。次の(ア)～(エ)から1つ選び、その記号で答えよ。

(ア) 未来橋 (イ) 飛躍橋 (ウ) 開運橋 (エ) 栄光橋

(3) 1884年に現在の神崎市千代田町に生まれ、「次郎物語」の作者で知られている人物はどれか。次の(ア)～(エ)から1つ選び、その記号で答えよ。

(ア) 大隈重信 (イ) 下村湖人 (ウ) 鍋島直正 (エ) 佐野常民

(4) 唐津市の産学官連携事業で完全養殖に成功した水産物はどれか。次の(ア)～(エ)から1つ選び、その記号で答えよ。

(ア) サケ (イ) サバ (ウ) サンマ (エ) タラ

(5) 佐賀ブルーナースが所属するプロスポーツリーグの通称はどれか。次の(ア)～(エ)から1つ選び、その記号で答えよ。

(ア) Bリーグ (イ) Jリーグ (ウ) Tリーグ (エ) Vリーグ

- 11 次の文は、「教育の情報化に関する手引（追補版）」（令和2年6月 文部科学省）から抜粋したものである。（ A ）、（ B ）に入る語句を、下の（ア）～（オ）からそれぞれ1つ選び、その記号で答えなさい。

（1）教育の情報化について

「教育の情報化」とは、情報通信技術の、時間的・空間的制約を超える、（ A ）を有する、カスタマイズを容易にするといった特長を生かして、教育の質の向上を目指すものであり、具体的には次の3つの側面から構成され、これらを通して教育の質の向上を図るものである。

- ① 情報教育：子供たちの情報活用能力の育成
- ② 教科指導におけるICT活用：ICTを効果的に活用した分かりやすく深まる授業の実現等
- ③ 校務の情報化：教職員がICTを活用した情報共有によりきめ細やかな指導を行うことや、校務の負担軽減等

あわせて、これらの教育の情報化の実現を支える基盤として、

- ・ 教師のICT活用指導力等の向上
- ・ 学校のICT環境の整備
- ・ 教育情報（ B ）の確保

の3点を実現することが極めて重要である。

- | | | |
|-----------|---------|--------|
| （ア）信頼性 | （イ）双方向性 | （ウ）公共性 |
| （エ）セキュリティ | （オ）機会均等 | |

解答番号	正答	解答番号	正答	解答番号	正答
1	カ	21	ケ	41	ウ
2	ア	22	カ	42	エ
3	ウ	23	ウ	43	イ
4	ク	24	イ	44	ア
5	エ	25	イ	45	エ
6	ア	26	ク	46	イ
7	セ	27	ウ	47	イ
8	ス	28	サ	48	ア
9	ソ	29	カ	49	イ
10	ク	30	ウ	50	エ
11	キ	31	イ	51	
12	ウ	32	イ	52	
13	サ	33	ウ	53	
14	コ	34	イ	54	
15	エ	35	ア	55	
16	カ	36	ウ	56	
17	エ	37	r	57	
18	ク	38	イ	58	
19	イ	39	ウ	59	
20	ア	40	エ	60	